

# U-net通信

2015年9月  
Vol.86

発行:地球環境・共生ネットワーク 〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F TEL:03-5427-2348 FAX:03-5427-5890 http://www.unet.or.jp 編集人:大山正治/発行人:比嘉照夫

あとから来る者のために  
坂村 真民  
あとから来る者のために  
田畑を耕し  
種を用意しておくのだ  
山を  
川を  
海を  
きれいにしておくのだ  
ああ  
あとから来る者のために  
苦勞をし  
我慢をし  
みなそれぞれ力を傾けるのだ  
あとからあとが続いてくる  
あの可愛い者たちのために  
みなそれぞれ自分でできる  
なにかをしてゆくののだ



## 地域活性化は元気野菜作りから

～ 熊本県菊池市・山鹿市 ～

取材/大山

熊本県北部の菊池市と山鹿市でEMによる有機栽培や環境改善を推進するU-ネット理事で熊本県世話人の田村直美さんとNPO菊池川流域環境ネットワークの野中正文さんのご案内で取材した同地域でEM普及活動にご尽力されている方々の現況をご報告する。



▶小川勝也さんと自慢のEM有機スイカ



◀山鹿市立広見保育園でEMボカシ作りを实地指導している野中正文さん(左上)と田村直美さん(右上)



◀フルーツのようなピーマンを育てる芋生順一さん

### 生ごみリサイクルで元気作り 山鹿市 広見保育園

山鹿市内の全保育園で繰り広げられている「命のめぐり体験活動」は、保育園の園児たち自身が育てた野菜のリサイクルに焦点を当てた全国に誇るべき“食育”の一つだ。

この活動を指導するのは長崎県佐世保市を拠点に全国的に活動する[NPO大地といのちの会]理事長の吉田俊道さん。

山鹿市立広見保育園(稲葉敦子園長)も吉田さんの指導を受けており、元気野菜作りに欠かせないEMボカシ作りを園児たちに实地指導しているのが田村世話人と野中さんだ。

元気野菜作りの目標は3つ、①野菜を丸ごと使い、人・物・命を大切に作る心育てる。②病気にかかりにくい体・病気を治りやすくする元気な体を作る。③五感も育て食を楽しむ。

この活動を導入して以来、園児の病欠日数が半分以下に減り、低体温児童も減り、病気の回復が早くなったと言う。更に、集中力が増し、友達を大事にするようになってきたと言う。加えて、地域の人たちや高齢者施設との交流が盛んになり、地域活性化に寄与するようになってきた。

### 雑草やタニシも活用する有機 JAS 認定の稲作

#### 菊池市 小川勝也さん

菊池川流域は知る人ぞ知る「七城米」の産地、全国的なコメの食味会で過去2回全国一に輝いている。この恵まれた菊池川流域で水稻を栽培する小川勝也さんは、元JAの営農指導員でEM農法も25年以上になる。半数以上が有機JAS認定田であり、しかも5ヘクタールの水稻栽培をほぼ一人でこなす省力農法。これには、田植え前のナタネの鋤き込み、畔の雑草を緑肥活用、ローリー車によるEM活性液散布、ジャンボタニシによる除草などアイデア豊富で

しかも実践的な農業指導者でもある。また、自身の稲作を近隣の小学校での環境教育に繋げる活動にも熱心で、田植えを手伝う小学生に大人気で自慢のEM有機栽培のスイカをふるまうことにも生きがいを感じている。

### ジャンボピーマンはフルーツ! 山鹿市 芋生順一さん

EM農法に熱心に取り組む芋生順一さんは、春から秋にかけては、ほうれん草、ピーマン、サツマイモを、田植え前の水田では名物の水田ごぼうを栽培している。また、今回の取材で露地物のジャンボピーマンを生で食べたが、全くピーマンとは思えないほどの甘みとスッキリした後味に魅了されてしまった。まるでフルーツでも食べているような感覚であった。

### 農のテーマパークを目指す 山鹿市 道の駅鹿北 小栗郷

山鹿市鹿北町にある「道の駅鹿北 小栗郷」周辺は、「里山」の風景を残して地元農産物の直売や加工、郷土料理、森林資源の杉等を活用した木工品教室など農業を基本にしたテーマパークを目指しているようだ。EM栽培野菜の販売もあり、公衆トイレはEM活性液の使用で快適さが維持されている。

### 養殖鮎の中間育成 山鹿市 菊池川漁業協同組合

鮎釣りで有名な菊池川の山鹿大橋近くに菊池川漁業協同組合が運営する鮎の中間育成用水槽がある。鮎の中間育成とは、ふ化して間もない2センチほどの鮎の稚魚を70日間、水槽で放流できる大きさ10センチ位になるまで育てることで、今年は5月7日に35万匹を放流したそうだ。EM活性液は放流後の水槽を清掃するのに使われている。



# 官民あげての可燃ごみリサイクルに活躍するEM

～ 可燃ごみ半減化を実現した斑鳩町の取組 ～

取材／杉山

奈良県の北西部に位置する生駒郡斑鳩(いかるが)町は、聖徳太子が建立したと伝えられる法隆寺が特に有名だが、近年になって法隆寺の西350mの地点に発見発掘された歴史ロマンを彷彿とさせる「藤の木古墳」の存在は、飛鳥時代から天平時代に繋がる時代の流れを知るに相応しいもので、多くの観光客が訪れる様になった。

そんな斑鳩町では、ごみを燃やさない、埋め立てないまちを目指した「ゼロ・ウェイスト」活動を推進中だが、中でも期待されるEMボカシ処理容器を使って発酵&堆肥化するリデュース(Reduce) & リサイクル(Recycle)の取組を後藤和子さん(U-ネット理事)と共に現地取材した。

## 斑鳩町環境対策課はごみ対策司令塔 奈良県斑鳩町

「ゼロ・ウェイスト(廃棄物ゼロ)」活動の柱は5つの「R」。不要なものもらわない(Refuse)、ごみになるものを減らす(Reduce)、繰返し使う(Reuse)、資源として再び使う(Recycle)、修理して使う(Repair)を実践するが、中でも可燃ごみは、ごみ全体の約60%も占めるもので、この可燃ごみを資源化できれば「ゼロ・ウェイスト」活動は半ば成功したも同然。

斑鳩町では約700世帯がEMボカシによる資源化に協力している。EMボカシは町内の「あゆみの家(大西憲一所長)」で生産し、障がい者雇用にも役立っている。

また、このようなEMボカシを使った可燃ごみの堆肥化指導は、後藤和子さんが担当し、年2回の勉強会による実技指導は、これまでに500名以上が受講した。そして、その甲斐もあって現在の可燃ごみ量は、平成11年度対比で約40%以上も減らす事に成功した。

この取組は可燃ごみがゼロになるまで続けると栗本公生さん(環境対策課長)は言う。また、資源化する為に分別した方が良いと思えば、専用の分別袋を用意し町民に協力を仰いでいる。可燃ごみゼロを早期に実現したいと話す中尾歩美さん(環境対策課課長補佐)は、特に水分量の多い紙おむつの分別回収が喫緊の課題と話す。



▲左より環境対策課・栗本公生課長、中尾歩美課長補佐



▲あゆみの家の仲間達

## 付加価値の高い米作りに自信を見せる山口農園 奈良県安堵町

奈良県生駒郡安堵町で約5町歩の水田を持つ山口農園の山口俊治さんに米作りのコツを聞いた。安堵町は斑鳩町の東隣に位置し人口約8000人の町。約20年前に米作り専業農家になったが、当初から安全安心な米、美味しい米、顧客に喜ばれる米、を作る事を心掛けて来たと言う。

肥料は有機肥料しか使わない。EMボカシやEM活性液を多用して栽培された米は、多くの顧客に喜ばれていて、作付時に予約で一杯となる程と言う。

後藤和子さんやU-Net奈良のメンバーも顧客で、口コミで顧客数が広がっているそうだ。山口農園では米作り

とは別にEMイチゴやEMレンコン作りもしている。折しも蓮の花が咲いていて今年も豊作間違いないと自信を見せる山口俊治さんは、最近、腰を悪くした奥様を気遣いながら黙々と働く。



▲EM栽培されている田圃。山口俊治さん(左手前)、後列左より後藤和子さん、木下真砂子さん(U-Net奈良)、逸見敏機さん(U-Net奈良)

## 後藤和子さん(U-ネット理事)とU-Net奈良の活動紹介

U-Net奈良はU-ネット設立と同時期に活動を開始。約15年の活動実績を持つ。メンバーは現在12名で、生ごみ堆肥化に不可欠なEMボカシ(150kg/月)及びEM活性液の生産販売や行政と共にEM勉強会を定期的に行う。EMによる安全安心な食材や環境で、健康の維持管理向上を図る。これまでに奈良東大寺の鏡池浄化や東日本大震災の復興支援に活躍。



▲U-Net奈良・メンバーの皆さん



# 第6回「海の日」全国一斉EM団子EM活性液投入

～ 集計途中結果報告 ～

全国の団体・個人が多数参加して各地で行なわれた全国一斉EM投入。U-ネット事務局に寄せられている報告書の途中集計結果と、写真の一部を紹介する。今年の海の日イベントは比嘉照夫理事長が滋賀県の琵琶湖、三重県の伊勢湾、愛知県の堀川イベントへ出席し多くの参会者の方々とともに楽しく団子投げイベントを行った。最終的なとりまとめ結果は次号に掲載の予定である。(集計にご協力をお願いいたします！)

	団体・個人数	参加人数	EM団子(個)	EM活性液(L)
本年8月18日現在	221	8,315	189,166	355,495



■三重 四日市 EMわくわくネット三重



■福島 二本松市 菊の里



■沖縄 名護市 東屋部川浄化ボランティア



■東京 新宿区  
日本橋川・神田川を清流よみがえらせる会



■奈良 奈良市 U-net奈良



■茨城 取手市 NPO緑の会

i n f o r m a t i o n

## 事務局からのお知らせ

### ■今後の主要行事のご案内■

- |                  |              |                       |
|------------------|--------------|-----------------------|
| ●善循環の輪・熊本の集いin山鹿 | 日程 9月26日(土)  | 会場 山鹿市民交流センター 文化ホール   |
| ●善循環の輪・奈良の集いin斑鳩 | 日程 10月31日(土) | 会場 斑鳩町中央公民館 大ホール      |
| ●善循環の輪・徳島の集いin阿南 | 日程 11月7日(土)  | 会場 阿南市情報文化センター コスモホール |

### ■復興支援 環境フォーラム(第5回)■

- |                   |              |           |
|-------------------|--------------|-----------|
| ●うつくしまEMパラダイスin東京 | 日程 11月29日(日) | 会場 笹川記念会館 |
|-------------------|--------------|-----------|